

朝ごはん

「たかべ、みそ汁、元気いっぱい」



富田林市立高辺台小学校は、今年で創立 46 年目を迎える全児童数 182 名の小学校である。
 「たかべ、みそ汁、元気いっぱい」は、地域住民の方から寒い2月の登校時に、児童に何かできることはないかとの提案がきっかけで始められた朝ごはん摂取を推進する取組みである。
 3年生の国語科教材「すがたをかえる大豆」の発展学習の一環として、総合的な学習の時間を活用し、種から大豆を育て収穫し、その収穫した大豆からみそを作る過程を学び、最後はみそ汁として食するまでの年間計画を立て、子どもたちは自ら体験することで食への関心を深めた。
 本取組みは多くの方々の協力がなければ実施できないものであるが、幸いなことに子どもたちは多くの外部人材に恵まれることができた。富田林市食生活改善推進協議会「わらび会」の皆さん・帝塚山学院大学畑部の学生の皆さん・PTA 及び地域住民の方々等の「健やかな子どもたちの成長」を願う多くの方々の思いが実現させた取組みである。
 本校では、食育推進の成果として給食残食ゼロの実践を継続。富田林市給食センターから「給食パーフェクト賞」を受賞。朝ごはん摂取の取組みの推進が実を結んだ成果である。



今年で6年目を迎えるこの取組みもPTAの皆さん、地域の皆さん、帝塚山学院大学畑部の学生の皆さん方の協力を得て、登校してきた子どもたちに温かいみそ汁が振る舞われた。子どもたちも笑顔で「ありがとう」と言葉を返した。

「温かいみそ汁をいただく前に、手洗い消毒をしっかりとしよう！」手洗い消毒活動も朝ごはん運動の大事な一つの取組みであり、食育の一環である。子どもたちも食事の前のエチケットをしっかりと学んだ。



「みんながおいしそうにみそ汁を食べている様子を見ると校長先生もなんだかうれしくなってくるよ。」
 「みそ汁をおいしくいただいて、今日も1日しっかりがんばろう！」



朝ごはん

食生活改善推進協議会及び大学生の支援を受けて3年生が栽培・収穫した大豆に、麴を混ぜ合わせて作ったみそを使用。具材の大根は、2年生が栽培・収穫したものを使用。この一杯のみそ汁には多くの人の心が溶け込んでいる。



前日から具材の切り分け作業や調理器具の運搬をはじめ、当日の早朝午前5時から地域の方々による家庭科室でのみそ汁作りも始まった。玄関前では、放送機器の準備や看板設置等、子どもたちを迎える準備が整っていった。



朝のあいさつ

平成24年度より「健やかな『心』と『体』を育む」を研究主題に、児童の言語力の育成に取り組んでいる。特に、全学級担任による「あいさつ指導」を日々の取組みとして継続して行っている。

あいさつは人と人がつながる第一歩のコミュニケーション手段であり、人間関係の構築に必要な基盤となるものである。

今後も指導の継続を通して、あいさつの大切さを子どもたちに伝えていく活動を進める。

朝の読書

朝のあいさつ運動と同様、「言語力の育成」を図る取組みとして、木曜日と金曜日の週二回、全学級一斉に朝の始業前から約15分間の読書活動を行っている。また、保護者や地域の方々にも協力していただきながら、朝の読み聞かせ活動も行っている。

今後も朝の読書活動を通して、読む力や聞く力の育成を図り、落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける態度を育てる。